

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日：令和5年（2023年）11月28日

作成者：（課名）市民協働推進課

（氏名） 杣 晴薫

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 Ⅲ 健康で心がふれあうまちづくり 【具体的な取り組み】 6 人材の発掘 (1) ボランティアグループの立ち上げを図る ①家事援助や育児援助（ベビーシッター） のできるボランティアを、市を通じて募り、 立ち上げを図る
取組内容の関係課	子ども未来部 子ども家庭室 子ども家庭支援センター

2 対話の状況

(1) 実施概要
ア 日時： 令和5年（2023年）11月7日 10:00~11:15
イ 場所： 宝塚市役所 第2庁舎 会議室A
ウ 出席者： 以下のとおり ＜まちづくり協議会＞ 宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 ● ＜関係課＞ 谷川所長、北浦係長（子ども家庭支援センター） ＜協働の取組推進担当次長＞ 戸井室長

(2) 確認できたこと

ア 育児援助の現状

支援の現状として、フレミラ宝塚で行っているファミリーサポートセンター事業がある。保健福祉サービス公社に委託している事業であり、小学6年生までを対象として、提供者と依頼者のマッチングを有償で行っている。利用目的は保育所の送迎や母親のリフレッシュなど多岐にわたり、提供者と依頼者の双方の話を聞き、アドバイザーがマッチングを行う。また、産後うつ対策として、産後ママへの支援も行っている。こちらも有償で育児支援や家事支援などを、介護保険事業者やNPOのあいかつとシルバーへ委託している。支援の範囲については、赤ちゃんに直接触れないことや、沐浴補助や授乳の準備といった間接的な支援に留めることに決めている。それぞれ、経済的に難しい家庭には利用料の減額や補助などの制度もある。

イ 支援の課題

シルバー世代へ子育て支援を頼めたらと考えているが、子育ての仕方が時代と共に変化しているため、今の育児への理解の必要性や、どこまでの支援をどこで実施するのかといった、支援の範囲や場所の検討が課題。

また、ファミリーサポートセンター事業や産後・育児支援ヘルパー派遣事業の申し込みはフレミラ宝塚でなくてはならないため、フレミラ宝塚が地域から遠く、電車を利用しないと行けない。未成小校区に近い、産後ヘルパー事業を提供している光明ヘルパーステーションにて、直接の申込ができないといった手続面での複雑さ・不便さが課題として挙げられる。市役所や地域の拠点施設などでの手続きについては、特別な事情がある場合を除いて実施していないのが現状である。

ウ 課題の解決策

シルバー世代への今の子育て方法を理解していただくひとつとして、「たから・まご手帳」という子育て紹介ツールを作成しようとしている。これを参考に、zukavoでのボランティア登録やファミサポに会員登録するという流れを作っていくことで、シルバー世代に手を貸してもらい、子育て世代と子育て世代の地域での結びつきに繋げていきたい。

エ 今後の地域と子育てについて

地域としては、地域での子育てを通じて、子育て世代とシルバー世代に交流が生まれ、つながりができることを大切にしていきたい。地域のママやパパも誰が地域の人かわからないのが現状なので、顔の見える関係の構築のために、いかに交流できる場を作るかを検討したい。PTA活動や、地域の祭り、子どもの遊び相手などのきっかけを作り、地域の中で顔見知りになることが大切。そういった取り組みが、災害時やいざという時に一時預かりができたり、助けてほしいというニーズを掘むことにもつながると考えている。市としては、子育て世代からシルバー世代までをつなぐ横断的な考えを持ち、行政側がニーズを調査し、地域へも情報提供を行っていく。

まち協からの要望：

- これまでの実績を踏まえ、どのような援助が求められているか、個々の援助に関して提供者にはどのような研修が必要かをまとめた一覧表の作成と提供。
- 援助提供者として、してはいけない声掛けの一覧表の作成と提供

(※まち協からの要望を受け、提供された資料を添付)

育児ファミリーサポートセンター事業（R4年度実績）

（単位：回）

依頼状況区分	割合	件数
保育施設までの送迎	30.8%	1,128
習い事等への子どもの送迎	13.6%	496
保護者の趣味、リフレッシュの際の子どもの預かり	9.9%	363
保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	9.3%	341
放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	7.3%	267
保護者等の病気、その他急用の場合の子どもの預かり	5.5%	201
保護者の自宅就労、短時間・臨時的就労の場合の子どもの預かり	5.0%	182
その他	4.1%	150
保護者が兄弟・姉妹の習い事等の送迎を行う際の子どもの預かり	3.8%	138
小学校、養護学校等の登校前の子どもの預かり	3.3%	120
放課後児童クラブの開始前の子どもの預かり	2.1%	76
買い物等外出の際の子どもの預かり	1.8%	66
保育所・学校等が休み時の子どもの預かり	1.4%	51
学校の放課後の子どもの預かり	1.4%	50
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	0.8%	31
保護者の求職活動中の子どもの預かり	0.0%	0
合 計		3,660

※令和4年度に依頼会員（手助けをしてほしい人）が提供会員（手助けをする人）に依頼した内容別に分けており、依頼件数が多い順に並べています。

嬉しかったこと	NGだったこと
もう、こんなことができるようになったんだね。大きくなったね。	ベビーカーで移動中に「こんな所通るんじゃない！」と言われた。
おしゃべりが上手だね。	電車で子どもがなくて、ジロっとみられる。
子どもらしく育っているね。	自分の勝手にイライラしないで！と、その時の状況だけで言われた。
顔見知りでない人からも「かわいいね」と声をかけてもらえた。	「まだ歩けないの」「まだオムツとれないの」「トイレはいつから始めるの、もう遅いんじゃない」など子どもの発達について。
声掛けはないけど、子どもと目が合ったら、にこっと、笑顔で返してくれた。	「母乳を飲ませる」「靴下をはかせなくても大丈夫なの」「靴下をはかせなくても大丈夫なの」「便秘ならお白湯を飲ませたら」など育児の方法について
子どもが電車やバスの中で大泣きしたときに、優しく子供をあやしてくれた。また、「大丈夫だよ」というような優しいまなざしを向けてくれた。	「男の子なのに髪を切らないの」「お母さんに似てないね」「まだおしゃぶりしているの」